

老年看護学実習

【実習目的】

老年期にある対象の特徴を理解し、生活の質の向上を目指した看護が実践できる基礎的能力を養う。

【実習目標】

- 1 高齢者の加齢による身体的・精神的・社会的な変化、健康状態を理解できる。
- 2 高齢者の特徴、健康障害の状態を踏まえ、日常生活の自立に向けた援助が実践できる。
- 3 高齢者の人生観・価値観を尊重し、QOLを考慮した援助が実践できる。
- 4 高齢者を取りまく保健医療福祉の連携の必要性と看護の役割が理解できる。

【構成および計画】

| 授業科目 | 実習内容 | | 時間 | 単位 (合計時間) |
|----------|--------------------|---------|-----|-----------|
| 老年看護学実習Ⅰ | 入院中の高齢者の日常生活を支える看護 | 臨地実習 | 80 | 2 (90) |
| | | 実践活動外学習 | 10 | |
| 老年看護学実習Ⅱ | 健康障害のある高齢者の看護 | 臨地実習 | 80 | 2 (90) |
| | | 実践活動外学習 | 10 | |
| 合計 | | | 180 | 4 (180) |

〈実践活動外学習の内訳〉

| | 項目 | 目的 | 内容 | 時間 |
|----------|----------------------------------|--|--|----|
| 老年看護学実習Ⅰ | 全体オリエンテーション | 実習を円滑に行うために、実習の概要を理解し、実習施設や患者情報を得る。 | 老年看護学実習の目的・目標、時間数、評価、学習方法、留意点 | 2 |
| | フロアーオリエンテーション | | 病棟の概要、特徴、物品配置、病棟実習上の留意点、記録・報告、受け持ち患者の紹介等 | 2 |
| | 技術練習 | 高齢者の特徴を踏まえ、必要な援助技術を身につける。 | 事例に合わせた日常生活援助 | 3 |
| | 安全教育 | 安全・倫理に基づく行動について学ぶ。 | 高齢者への日常生活援助に伴う危険性と対策 | 3 |
| 老年看護学実習Ⅱ | フロアーオリエンテーション | 実習を円滑に行うために、実習の概要を理解し、実習施設や患者情報を得る。 | 実習の目標、時間数、評価、病棟の概要、特徴、物品配置、病棟実習上の留意点、記録・報告、受け持ち患者の紹介等 | 2 |
| | 高齢者の医療安全を守るためのカンファレンス | 臨地実習で受け持った高齢者の危険要因を明らかにし、安全対策について検討する。 | 受け持ち患者に起こりうる事故を未然に防ぎ、患者の安全を守るための看護実践の方法等 | 8 |
| | 看護計画や看護実践の充実を図るための事例検討・文献検索・技術練習 | 臨地実習で受け持った高齢者への看護計画や看護実践を振り返り、患者に合った看護計画や看護援助の方法を検討する。 | 高齢者の特徴と受け持ち患者の個別性を踏まえた看護計画の立案・修正、受け持ち患者に実施した看護のエビデンスの確認、実施した看護技術の振り返り等 | |